

# 平成 29 年度 第 3 回学校運営協議会会議録

神奈川県立相原高等学校

司会 教頭 記録 学校運営グループ 総括教諭

日 時 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 15 時 30 分～16 時 50 分  
場 所 相原高等学校会議室

## 1 校長あいさつ

3 月 1 日 (木) の卒業式で 223 名を無事に送り出しました。進路状況は進学 69.5%、就職 22.9%、未定者は数名おります。

2 月 14 日 (水) からは平成 30 年度入学者選抜がありました。農業 3 科は各 40 名、総合ビジネス科は 120 名が合格となりました。

ここ数年年間授業時数充実のための取組をすすめて参りましたが、平成 30 年度から 55 分授業を取り入れます。これにより、期末テスト後は午前授業とし補習や授業以外の活動のための時間を確保します。また、8 月末までを夏期休業とし、インターンシップ、農業体験、地域貢献活動、各種検定対策さらに進路指導等、本校の特色ある様々な取組の時間を充実させます。2 年程前の年間計画に近い形になります。時程は朝の HR を 8:30、終業が 15:35 となります。単純に 30 分繰り下げるのではなく、農業実習・部活動など放課後の時間もあまり削らないよう工夫しました。こどもたちの潜在能力を全て伸ばせるよう、運用面で更なる検討をすすめます。

正門前のクスノキは、樹木医による調査で、「樹齢 100 年を超える老木で倒木の危険性が高い」との結果を得、生徒及び中央道通行の地域の方の安全確保のため、進入防止柵及び迂回通路のアスファルト舗装を行いました。

新校地移転に向け、通学手段確保のためバスの増便、駐輪場確保にむけ取り組んでいます。1 月に現 1 年生は新校地まで赴き、新校地の様子を生徒自身が見学し、通学方法について考えさせました。現在、本校生徒の通学手段確保のために「橋本駅」から「はげの原車庫」バス停までのバス運行の増便を要求しています。

## 2. 学校より (副校長)

学校評価について 〈学校運営協議会資料 P3～4〉

### ①教育課程・学習指導

- ・1 年生で基礎学力診断テストを実施したが、結果の活用に課題が残っております。来年度は 1, 2 年生で実施します。
- ・カリキュラムの検討が進みませんでした。次年度には方向性からの検討となります。
- ・年間授業時間数確保はほぼ達成できました。

### ②生徒指導・支援

- ・生徒対象の各種講演会は予定通り実施しました。生徒に響く効果的な指導を行うために学校全体での指導・共通理解を深めていく必要があります。

### ③進路指導・支援

- ・データベースソフトを導入し、進路状況のデータ収集を開始した。今後完成させ、どのように活用するかが課題となります。
- ・インターンシップへの参加状況が昨年を下回ってしまいました。どのようにすれば参加者を増やせるかが、今後の課題として残ります。

### ④地域等との協働

- ・全ての科で連携事業を実施しました。今後も推進していきます。

⑤学校管理・学校運営

- ・喫食訓練を行い備蓄品倉庫の整備をすすめました。今後も計画的備蓄を行います。
- ・地域の災害対策の取組に関する情報収集をすすめます。

【質 疑・意 見】

①教育課程・学習指導について

(質問1) カリキュラムの検討はどのような状況なのか。

(校 長) 平成30年度は今年度と同様のカリキュラムです。34年度入学生のカリキュラムの検討を進めています。専門高校として、専門科目と普通科目のバランスが重要となります。

(質問2) 授業時間数確保により職員の多忙化が進むのでは。専門分野の最先端の技術等を学ぶなど、研修の時間はあるのか。

(校 長) 現在専門科で、出前授業を多数行っています。生徒が学ぶのみならず、職員の研修の一環として活用しています。GAP 認証の研修にも参加しています。子どもたちに還元し、卒業後地域に出て農作物の GAP 認証のお手伝いが可能となります。

②生徒指導・支援について

(意見1) 部活動等もあり、いつも先生が忙しそうに思えます。

(校 長) 部活動外部講師が導入されますが、全校・全部活動には至りません。業務アシスタントが全校に導入され、多少の軽減が見込まれます。

(質問3) サッカー部の部員が少ないときに、フットサルにシフトすることはないのか。

(校 長) 野球部は合同チームで活動することもありました。生徒の意向・希望を大切に活動をしています。

(意見2) 部活動の加入状況について、運動部の部員が減っている。運動部の中で世の中のルールを体験することができる。部活動に加入しやすい環境をお願いしたい。

(校 長) 部活動加入率は、他校と比べると低くなっています。しかし、本校では商友会や農業クラブの活動が部活動の役割を担っているとも考えられます。

③進路指導・支援について

(質問4) インターンシップへの参加者減少はどのようなことが原因か。

(校 長) PR不足もあるが、相模原市のインターンシップは普通科の生徒を対象にしているものが多いことも一因と考えられます。

(質問5) どのようなものが単位認定されるのか

(校 長) インターンシップ、就業体験、ボランティアなどです。実際に活動をしていても単位認定を申請しない生徒もおり、活動している生徒は多数おります。

(意見3) 今後、生徒個々の活動も調査書への記載が必要になります。把握するための体制を整えてください。

④地域等との協働について

(意見4) 今後も科の枠を超えた活動をすすめて欲しい。資料には「校内での活動」か、「校外での活動」かも記載して欲しい。

⑤学校管理・学校運営について

(質問6) 防災活動において、地域として協力できることはあるか

(校 長) 自治会・小中学校での防災の取組や防災マニュアルなど情報を収集しています。ご協力をお願いします。

(質問7) 災害発生時に高校生としてどのような行動ができるか、どう行動すべきかをという観点での取組もお願いしたい。

(校 長) 避難訓練の総評のなかで触れています。更に多くの場面で取り組みます。

(質問7) 生徒の備蓄品の他に、一時避難所としての備蓄はあるのか。

(校 長) 相模原市からの備蓄品を生徒用とは別に保管しています。

(校長) 平成 30 年度は、新校地移転に向け更なる準備を行います。この 1 年間ありがとうございました。引き続き次年度もよろしくお願いいたします。

**【確認】**

学校運営協議会委員の任期は 2 年間になっています。平成 30 年度も随時ご連絡します。よろしくお願いいたします。

以上をもって、16 時 50 分、終了した。